※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和８年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	新詳地理探究（帝国書院）　詳解現代地図 最新版（二宮書店）						
副教材等	最新地理図表ＧＥＯ　（第一学習社）　地理要覧（二宮書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理的事象に「なぜ」の視点を持ち、単なる暗記に終始しない。
・地域空間の特性を背景とした世界の国の諸事情を考える。
・現在やこれからの日本の在り方も考える。

2　学習の到達目標

(1) 地理に関わる諸事象に関して，世界の空間的な諸事象の規則性，傾向性や，世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする
(2) 地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，系統地理的，地誌的に，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う
(3) 地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識:地図や地理情報システムなどの読み取りを通して,地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性,傾向性や関連する課題の発生要因について理解することで,現代世界の諸事象の地理的認識を深めている。技能:地図や地理情報システムなどを用いて,調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義,特色や相互の関連を,位置や分布,場所,人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，系統地理的，地誌的に，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や,考察,構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	現代世界の地理的事象を系統地理的,また地誌的に考察し,それに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きるための責任を果たそうとしたか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第１部　現代世界の系統地理的考察　第１章自然環境	1節　地形 1　地形の成因と地球表面の起伏 2　地球規模の大地形 3　河川流域と海岸にみられる小地形 4　そのほかの特徴的な小地形	a　地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には，どのような特徴や成因があり，人間活動とどのように関わっているかについて理解している。 b　地球規模の大地形や小地形などのさまざまな地形には，どのような特徴や成因があり，人間活動とどのように関わっているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 地形について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
		2節　気候 1　気候の成り立ち 2　気候と生態系 3　世界の気候区分 4　さまざまな気候帯 5　気候変動と異常気象	a 気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて理解している。 b 気温や降水量，風などを要素とする気候の違いは，どのような要因で生まれ，人々の生活にどのような影響を与えているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 気候について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
		3節　日本の自然環境 1　日本の地形 2　日本の気候 3　開発に伴う災害と防災･減災の取り組み	a　日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり，自然災害とどのように関係しているかについて理解している。 b　日本列島の地形や気候など多様な自然環境にはどのような特徴があり，自然災害とどのように関係しているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 日本の自然環境について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

		4節　地球環境問題 1　地球環境問題とは 2　さまざまな地球環境問題 3　地球環境問題の解決に向けた取り組み	a　さまざまな地球環境問題を解決して，地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには，どのような考え方で，どのような取り組みをすればよいかについて理解している。 b　さまざまな地球環境問題を解決して，地球と人類が共存できる持続可能な社会をつくり出すためには，どのような考え方で，どのような取り組みをすればよいかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c　地球環境問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	第2章　資源と産業	1節　農林水産業 1　農業の発達と分布 2　農業の地域区分 3　現代世界の農業の現状と課題 4　日本の農業の現状と課題 5　世界と日本の林業 6　世界と日本の水産業	a　自然条件の影響を受けるとともに，社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には，どのような傾向や規則性がみられるかについて理解している。 b　自然条件の影響を受けるとともに，社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には，どのような傾向や規則性がみられるかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c　農林水産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
		2節　食料問題 1　世界の食料問題 2　日本の食料問題	a　食料の分配の世界的な偏りや，飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて理解している。 b　食料の分配の世界的な偏りや，飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c　食料問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

		3 節　エネルギー･鉱産資源 1　エネルギー資源の種類と利用 2　化石燃料の分布と利用 3　電力の利用 4　鉱産資源の種類と利用	a 世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや，エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか，生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて理解している。 b 世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや，エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか，生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて，多面的･多角的に考察し，表現している。 c エネルギー・鉱産資源について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
		4 節　資源･エネルギー問題 1　資源･エネルギーをめぐる課題 2　日本の資源･エネルギー問題	a これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し，今後，資源・エネルギー問題を解決し，持続可能な社会を実現するためには，どのような考え方が必要かについて理解している。 b これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し，今後，資源・エネルギー問題を解決し，持続可能な社会を実現するためには，どのような考え方が必要かについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 資源・エネルギー問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
		5 節　工業 1　工業の発達と種類 2　工業の立地 3　世界の工業地域 4　現代世界の工業の現状と課題 5　工業の知識産業化とスタートアップ企業 6　日本の工業	a さまざまな製品を生み出し，人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し，現在はどのような工業分野や地域が中心となり，どのように変わろうとしているかについて理解している。 b さまざまな製品を生み出し，人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し，現在はどのような工業分野や地域が中心となり，どのように変わろうとしているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 工業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

		6節　第3次産業 1　経済発展と第3次産業 2　商業の現状と変化 3　商業以外のさまざまな第3次産業	a 経済が発展し，物やサービスへの需要が高まったため，主力の産業となった第c 次産業の現状はどのようになっているかについて理解している。 b 経済が発展し，物やサービスへの需要が高まったため，主力の産業となった第c 次産業の現状はどのようになっているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 第c 次産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
2学期	第3章　交通・通信と観光，貿易	1節　交通・通信 1　世界を結ぶ交通 2　日本の交通の特徴 3　情報通信の発達	a　社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には，なぜ傾向や地域性，地域間格差が現れているかについて理解している。 b　社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には，なぜ傾向や地域性，地域間格差が現れているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 交通・通信について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
		2節　観光 1　余暇の拡大と観光産業 2　日本の観光とその変化	a　日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや，観光の特徴や利点，課題について理解している。 b　日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや，観光の特徴や利点，課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 観光について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

		3 節　国家の領域と領土問題 1 現代世界と国家 2 領土問題と解決への取り組み 3 日本の領域と領土をめぐる問題	国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること，領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて理解している。 b 国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること，領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 国家の領域と領土問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	第４章　人口，村落・都市	1 節　人口 1 世界の人口 2 人口の移動	a 増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布，年齢別構成，移動には，どのような特徴がみられるかについて理解している。 b 増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布，年齢別構成，移動には，どのような特徴がみられるかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 人口について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
		2 節　人口問題 1 世界の人口問題 2 日本の人口問題	a 社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や，先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて理解している。 b 社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や，先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 人口問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

		3節　村落と都市 1　集落の成り立ち 2　村落の形態と機能 3　都市の成立と形態・機能 4　都市圏の拡大と都市の構造	a 村落や都市の立地や発達，形態，変容のしかたにみられる傾向や規則性，国や地域によって異なる地域性について理解している。 b 村落や都市の立地や発達，形態，変容のしかたにみられる傾向や規則性，国や地域によって異なる地域性について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 村落と都市について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
		4節　都市・居住問題 1　発展途上国の都市・居住問題 2　先進国の都市・居住問題 3　日本の都市・居住問題	a　世界の都市が持続的に発展していくための課題，日本の都市の課題と解決するための取り組みについて理解している。 b　世界の都市が持続的に発展していくための課題，日本の都市の課題と解決するための取り組みについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 都市・居住問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	第5章　生活文化，民族・宗教	1節　衣食住 1　世界の衣服と食生活 2　世界の住居と衣食住の画一化	a　自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり，世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて理解している。 b　自然環境や社会環境などを反映して形成されてきた伝統的な衣食住の生活文化にはどのような傾向があり，世界的な画一化の動きとどのように関わっているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 衣食住について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
		2節　民族・宗教と民族問題 1　世界の民族・言語 2　世界の宗教 3　さまざまな民族問題 4　多文化の共生に向けた取り組み	a　世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性，各地にみられる民族問題の背景とのに関わりについて理解している。 b　世界のさまざまな民族の言語や宗教の独自性，各地にみられる民族問題の背景とのに関わりについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 民族・宗教と民族問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

		3 節　国家の領域と領土問題 1 現代世界と国家 2 領土問題と解決への取り組み 3 日本の領域と領土をめぐる問題	a 国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること，領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて理解している。 b 国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること，領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 国家の領域と領土問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	第2部　現代世界の地誌的考察　第1章　現代世界の地域区分　第2章　現代世界の諸地域	1 節　中国 -項目ごとに整理して考察 1 中国の政治体制と多様な民族 2 中国の食生活と農業・水産業 3 中国の工業化と海外進出 4 経済発展に伴うさまざまな課題	a 工業化や経済発展が著しく，世界経済に大きな影響を与えている中国について，民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 b 工業化や経済発展が著しく，世界経済に大きな影響を与えている中国について，民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 中国について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
		2 節　韓国 -項目ごとに整理して考察 1 韓国の歴史と生活文化 2 産業の発展と生活の変化	a 日本と地理的な距離が近く，急速な経済成長を遂げている韓国について，自然環境や歴史と生活文化，産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 b 日本と地理的な距離が近く，急速な経済成長を遂げている韓国について，自然環境や歴史と生活文化，産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 韓国について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

		3 節　ASEAN 諸国 　-項目ごとに整理して考察 1　ASEAN 諸国の歴史と文化･民族 2　ASEAN 諸国の農業とその変化 3　ASEAN 諸国の工業とその発展 4　ASEAN の変化と課題	a 日本と地理的な距離が近く，急速な経済成長を遂げている韓国について，自然環境や歴史と生活文化，産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 b 日本と地理的な距離が近く，急速な経済成長を遂げている韓国について，自然環境や歴史と生活文化，産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 韓国について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
		4 節　インド 　-経済成長に関連づけて考察 1　急速な経済成長を支えた産業の発展 2　増加する人口と農村の変化 3　インド社会の変化と経済格差の拡大	a　近年急速に経済が成長しているインドについて，産業の発展や農村・社会の変化，国内の経済格差をはじめとする課題を，経済成長に関連づけて理解している。 b　近年急速に経済が成長しているインドについて，産業の発展や農村・社会の変化，国内の経済格差をはじめとする課題を，経済成長に関連づけて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c インドについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
		5 節　西アジアと中央アジア 　-地域を比較して考察 1　イスラームと人々の生活文化 2　交易の歴史と乾燥地域の農業 3　豊富な資源を生かして進められる開発	a　自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが，異なる歴史的経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて，二つの地域を比較し，一般性や地域の特殊性を理解している。 b　自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが，異なる歴史的経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて，二つの地域を比較し，一般性や地域の特殊性を多面的・多角的に考察し，表現している。 c 西アジアと中央アジアについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

		6 節　北アフリカとサハラ以南アフリカ 　-地域を比較して考察 1　歴史的な背景によって形成された多様な文化 2　他地域との結びつきと人々の生活の変化 3　一次産品への依存とそれがもたらす課題	a　アフリカとしてのまとまりをもっている一方で，大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて，二つの地域を比較し，類似する一般性や地域の特殊性を理解している。 b　アフリカとしてのまとまりをもっている一方で，大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて，二つの地域を比較し，類似する一般性や地域の特殊性を，多面的・多角的に考察し，表現している。 c　北アフリカとサハラ以南アフリカについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
3学期		7 節　EU 諸国 　-項目ごとに整理して考察 1　EU の成り立ちと結びつき 2　ヨーロッパの多様な農業と政策 3　移り変わる EU の工業 4　EU 拡大による影響と課題	a　二度の世界大戦を機に EU を中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて，民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 b　二度の世界大戦を機に EU を中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて，民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して，多面的・多角的に考察し，表現している。 c EU 諸国について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
		8 節　ロシア 　-国家体制の変化に関連づけて考察 1　ロシアの成り立ちと体制変化 2　体制変化が産業にもたらした影響と課題	a　かつて社会主義国だったが，a 990 年代に国家体制が変化し，現在は新しい国づくりを進めているロシアについて，農業や工業を国家体制の変化に関連づけて理解している。 b　かつて社会主義国だったが，a 990 年代に国家体制が変化し，現在は新しい国づくりを進めているロシアについて，農業や工業を国家体制の変化に関連づけて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c　ロシアについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

		9節 アメリカ合衆国 −項目ごとに整理して考察 1 移民国家としてのアメリカ合衆国の発展 2 世界の食料生産の鍵を握るアメリカ合衆国 3 進展する科学技術と産業 4 多民族社会と移民増加に伴う課題	a 移民国家としての多様性をもち，世界有数の農業国であり，先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について，地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 b 移民国家としての多様性をもち，世界有数の農業国であり，先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について，地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して，多面的・多角的に考察し，表現している。 c アメリカ合衆国について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
		10節 ラテンアメリカ −歴史的背景と関連づけて考察 1 ヨーロッパの影響が強い社会 2 大土地所有制と農業の変化 3 工業化の進展と経済発展	a かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり，それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて，文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて理解している。 b かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり，それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて，文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c ラテンアメリカについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
		11節 オーストラリアとニュージーランド −国を比較して考察 1 移民の歴史と多文化社会 2 自然の恵みを生かして発達した産業 3 強まるアジア・太平洋圏との結びつき	a 南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが，自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて，二つの国を比較し，類似する一般性や地域の特殊性を理解している。 b 南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが，自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて，二つの国を比較し，類似する一般性や地域の特殊性を，多面的・多角的に考察し，表現している。 c オーストラリアとニュージーランドについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※令和４年度以降入学生用

	第2部　現代世界におけるこれからの日本の	1 節　将来の国土の在り方 1 日本の強みと地理的な課題	a 日本の強みをより生かせる将来について考え，持続可能な社会を構築していくには，どのようなことに取り組めばよいかについて理解している。 b 日本の強みをより生かせる将来について考え，持続可能な社会を構築していくには，どのようなことに取り組めばよいかについて，多面的・多角的に探究し，表現している。 c 将来の国土の在り方について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
	土像　第1章　持続可能な国土像の探究	2 節　持続可能な日本の国土像の探究 1 課題の把握 2 課題の追究 3 課題の解決	a 現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し，持続可能な社会を目指すためには，どのような国土の在り方が望ましいかについて理解している。 b 現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し，持続可能な社会を目指すためには，どのような国土の在り方が望ましいかについて，多面的・多角的に探究し，表現している。 c 持続可能な日本の国土像の探究について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度